

本学創立114周年式典

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人 中原 泉
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎025(267)1500



本学のシンボルマーク

東京・富士見に役職者が参列

本学の創立114周年記念式典は、6月1日の創立記念日に東京・富士見で挙行された。COVID-19(新型コロナウイルス)の代表者等が参列した。併せて米山武義先生への名誉博士号授与式が行われた。例年開催していた創立記念式典祝賀会、卒後50年・25年創立記念式典特別参列制度(ジューピリー5025)は中止した。

日本歯科大学創立114周年記念式典は、6月1日午前11時から生命歯学部富士見ホールにおいて挙行された。高橋孝幸事務部長がまず新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本日の式典は規模を縮小し、参列者の数、式典の内容、実施時間も簡略化して行うと述べた。ついで開式を宣し、築土神社の神職による神事が執り行われた。修祓、降神ののち、祝詞の中で本学の沿革が奏上され、中原泉理事長が神前に進み出て玉串を奉奠、参列者は、二礼、二拍手、一礼をもって同拝した。ついで藤井一維学長、中原貴理事、小林隆太郎理事、日本歯科大



創立記念日を迎えた喜びを述べる中原泉理事長



藤井一維学長から新任のメッセージが語られる

藤井一維学長は、新任のメッセージを語り、本学の歴史と未来について述べた。学長は、創立114周年の式典を挙

三ツ林議員 内閣府副大臣に就任

生命歯学部内科学講座教授で附属病院副院長の三ツ林裕己衆議院議員は、9月18日に菅義偉内閣の内閣府副大臣に就任した。内閣府は各省庁の中



永年勤続の代表者に表彰状を手渡す中原泉理事長(写真上・30年勤続、下・20年勤続代表者)



でも、内閣官房を助けて、重要政策に関する企画・調整を行う行政の中核機関である。三ツ林先生は埼玉14区から立候補し、2017年に三選。15年には厚生労働事務官に就任した。

学校友会の近藤勝洪会長が玉串を奉奠した。神事が終わって神職が退場したのち、中原泉理事長は本日の記念日に、創立114周年の式典を挙

行ってきたことの喜びを語った。ついで藤井学長と近藤校友会会長が挨拶を述べた。(要旨別掲)

永年勤続者

☆30年勤続表彰(生命歯学部)
志賀 博(補綴学Ⅰ)

北村和夫(総合診療科Ⅰ)
内川喜盛(小児歯科)
菊谷 武(口腔リハビリテーション科)

橘 弘之(歯科技工室)
齋藤勝紀(歯科技工室)
奥美和子(歯科衛生士室)

に、誤嚥性肺炎は口腔ケアによって予防できるという論文を発表した。これが堤防の一方所に穴を開けることになり、口腔リハビリテーションの領域が一挙に広がった。今の歯科医師のエリアを拡大し歯科の様相を変えたのは、この米山先生のハンマーの一撃だったと思う。これらの功績により、2014年には第66回保健文化賞を受賞された」と披露し、名誉博士の学位記を贈呈した。ついで米山名誉博士は御礼の言葉を述べた。(要旨別掲)

終わりに永年勤続者表彰に移り、表彰者の氏名

が呼びあげられ、30年勤続者13名を代表して志賀博教授、20年勤続者18名を代表して今井一志教授に中原泉理事長から各々表彰状が授与され、12時に式典を閉式した。

食べる機能・口腔機能の発達 Q&A

田村 文誉 (日本歯科大学教授・口腔リハビリテーション多摩クリニック)
井上美津子 (昭和大学客員教授・小児育成歯科学)

おいしいね

食べる機能・口腔機能の発達 Q&A
井上美津子 田村文誉

◆育成歯科、母子保健、障害児診療に長年携わった著者らの、わかりやすい説明は、小児歯科臨床の新しい課題の解決法を示します。
◆口腔機能発達不全症の診査・評価の新基準なども紹介しています。

両角祐子(歯周病学) 長谷川勝彦(内科学) (新潟病院)
白野美和(訪問歯科口腔ケア科)
渥美陽二郎(訪問歯科口腔ケア科)
松木奈美(歯科衛生科) (医科病院)
小島美枝(看護科)
田川智恵子(中央検査科) (東京短期大学)
今井久枝(短大事務室) (新潟生命歯学部)

医学情報社 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-24-6
TEL.03-5684-6811 FAX.03-5684-6812

新潟短大・優秀団体賞

表彰状

2020年度「大学・短期大学の部」優秀団体賞を受賞した。

株式会社サティファイは、「日本情報処理教育普及協会」「日本ソフトウェア教育協会」「マルチメディアクリエーター教育普及協会」など5協会の母体に2001年に設立された。現在は、「コミュニケーション能力認定委員会」などを加え、ビジネス能力、技能等に関する認定試験を開発し実施している。

創立114年を言祝ぐ

◇必要火急の職業

学校法人日本歯科大学
理事長 中原泉



やはり創立の日には、こういう式典をもって先人の方々に感謝を捧げなければならぬと感じている。今年度の入学式は中止となり、新入生とは未だ顔を合わせていない。現在、新入生も在生もすべてweb授業を受けている。

私は今年の卒業式とき、人生には三つの坂があるという言葉が卒業生に贈った。上り坂、下り坂、そして、まさか。彼らも私たちが、現在「ま坂」というステージにいる。

このコロナの災下に、

ことば
口でなければならぬ。このポリシーを持って、日本歯科大学をお互いに盛り立てよう努力していきたい。

図らずも職業の必要性和緊急性が浮き彫りになった。歯科医療は、不要不急の職業ではないことがはつきりした。私たちの職業は世の中に必要な仕事であり、患者さんにとつて火急の仕事である。歯科医療は必要火急の職業、であることを確認した次第である。

◇守り、守られる大学

日本歯科大学
学長 藤井一維



本日の創立記念日が、学長として初めての挨拶の場となるとは思ってもいかなかった。また2020年は、本当にまさかの連続となった。理事長からお話があつたように、私たちはまだ新入生には会っていない。この間、教職員の勤務は、東京が2カ月の休業、新潟が業務縮小という形をとってきた。

◇新しい時代に沿って

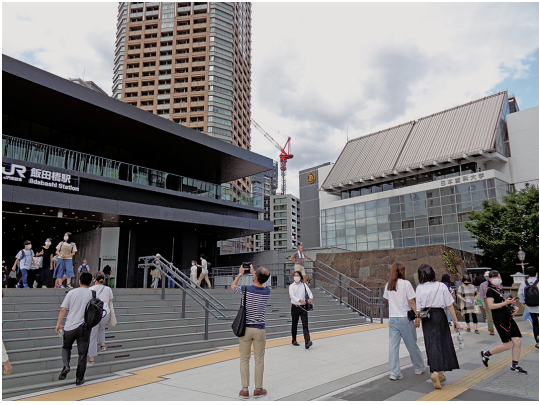
日本歯科大学校友会
会長 近藤勝洪

この厳しい環境の中で、創立記念式典を開催することができた。歯科関係者のある方が言うには、他大学の出身者から、今回の新型コロナウイルス感染防止について日本歯科大学はどうしていますか、とたびたび聞かれたそうだ。

私は日本歯科大学には先見性と豊富な経験を持ち、先を見通す目をもったトップリーダーがいることを、歯科界のみんなが知っているのだと痛切に感じた。これからも大学



飯田橋駅西口がリニューアル



JR飯田橋駅は、2015年より改修工事中だったが、7月12日に新しい西口駅舎がオープンした。(写真・右側は本学体育館)

駅舎は牛込橋の上で今までと変わらない。橋から改札口までに新しく広場ができた。来年には附属病院につながる通路が新設される。完成すれば来院患者の利便性がさらに向上するだろう。

ホームは市ヶ谷方面に200m延伸し直線化された。これにより急カーブのため、以前はホームと車庫の間に30cm以上あったリスクが解消された。改札口脇にはコンビニが開設している。駅ビル1階入口には、有名なパン店「ル・グルニエ・ア・パン」が入店し、2階にはレストラン、ラウンジ、ブティック等が出店予定。

思い起こせば今から40年以上前のことになる。東京校を卒業し、歯周病科に入局して本間に間もないころ、友人から静岡県の特別養護老人ホームにボランティアで行かないか、と声をかけてもらった。国家試験も受かり、未来の自分の歯科医師像を夢見てルンルの気持で御殿場に行った。その特養施設で目の当たりにしたのが、言葉が

を中止した。そのほかの事業も、やむを得ず中止あるいは延期にしたものもある。創立記念式典の折には平成27年から創立記念式典特別参列制度・ジュビリー15025を毎年実施してきたが、今回は中止したいと願っている。

となつた。来年の115周年記念日には、卒業50年の60回卒、25年の85回卒の先生方に加えて、今年参列するはずだった59回と84回の先生方にも出席してもらい、母校の発展した姿を見ていただきたいと願っている。

場に行つたが、入居者の何人かはお亡くなりになったが、口腔内の状態は依然変わらなかつた。そこで私は気が付いた。結局対症療法では絶対に口腔内の環境はよくならない、やはり予防的に行きと違い、非常に重い気持ちで帰つたことを覚えていた。1回限りのボランティアのつもりだったが、とうとう40年たち、昨日も老人ホームで診療してきた。

卒業して医局に残り、医局と老人ホームの両方に関わつた。上司の推薦と母校の支援により、2年間スウェーデンのイェテボリ大学に留学する機会をいただいた。その間後輩たちが1か月に1回御殿場まで行って守つてくれた。帰国してから、私は一見分からなかつたが、よく考えてみた



中原理事長から学位記が授与された



謝辞を述べる米山武義名誉博士

御礼のことば

名誉博士 米山武義

本日はこのように特別に荣誉ある名誉博士号をいただき、中原泉理事長先生をはじめ関係者各位に、心から御礼申し上げます。身の引き締まる思いで一杯だ。

適切などうか分からないが、ガレキのような口腔内、すごい口臭で、ほとんど口の中が顧みられていないという現実だった。行きと違い、非常に重い気持ちで帰つたことを覚えていた。1回限りのボランティアのつもりだったが、とうとう40年たち、昨日も老人ホームで診療してきた。

卒業して医局に残り、医局と老人ホームの両方に関わつた。上司の推薦と母校の支援により、2年間スウェーデンのイェテボリ大学に留学する機会をいただいた。その間後輩たちが1か月に1回御殿場まで行って守つてくれた。帰国してから、私は一見分からなかつたが、よく考えてみた

そんな折に全国紙の三大新聞に、「食後の歯みがきと上体起こしで肺炎予防」という記事が掲載された。東北大学の老生士・呼吸器内科の佐々木秀忠先生の記事だった。私は一瞬先を越されたと思つた。佐々木先生にお会いする機会を作つていただき、どのような歯みがきをしたかとうとう、イソジンでグルグルと綿棒で口の中を拭き取らうとおっしゃつた。い

ら、そうだ、大変なことに出会つたと思つた。しかし、呼吸器と結びつけてどう解析すればよいか分からなかつた。

が、今は私自身が高齢者の範疇に入り、残りの人生をどう関わるかと思つていた矢先に、新型コロナウイルスが発生した。

口腔ケアで肺炎予防
そんな折に全国紙の三大新聞に、「食後の歯みがきと上体起こしで肺炎予防」という記事が掲載された。東北大学の老生士・呼吸器内科の佐々木秀忠先生の記事だった。私は一瞬先を越されたと思つた。佐々木先生にお会いする機会を作つていただき、どのような歯みがきをしたかとうとう、イソジンでグルグルと綿棒で口の中を拭き取らうとおっしゃつた。い

の山内佳奈子先生です。☆同日午後3時、岸田文雄政調会長は、富士見町の本学附属病院を見学しました。

師連盟の高橋英登会長と懇談しました。☆同月9日午前10時、安倍晋三首相は、富士見町の本学附属病院に8カ月半ぶりに来院しました。総理の主治医小林隆太郎教授が、診察に当たりました。

日本歯科大学名誉博士号授与者

第1号	1964年	周 汝川 (台湾)
第2号	1969年	P. R. Begg (オーストラリア)
第3号	1999年	王 大章 (中国)
第4号	2000年	R. L. Christiansen (アメリカ)
第5号	2001年	S. Chuckpaiwong (タイ)
第6号	2002年	羽坂勇司 (日本)
第7号	2003年	A. Garfunkel (イスラエル)
第8号	2004年	N. C. Gervasio (フィリピン)
第9号	2005年	周 明勇 (台湾)
第10号	2007年	W. Suchato (タイ)
第11号	同	C. Suchatlampong (タイ)
第12号	2008年	M. Von Leudinghauzen (ドイツ)
第13号	2010年	D. M. Brunett (カナダ)
第14号	2012年	J. M. Powers (アメリカ)
第15号	同	R. Happonen (フィンランド)
第16号	2013年	C. Stohler (アメリカ)
第17号	2014年	村上一枝 (日本)
第18号	2015年	飯塚建行 (スイス)
第19号	2016年	周 学東 (中国)
第20号	2017年	B. Amarsaikhan (モンゴル)
第21号	2018年	G. M. Townsent (オーストラリア)
第22号	2019年	近藤悦子 (日本)
第23号	2020年	米山武義 (日本)

歯鏡

自民党総裁選の最中に☆9月4日午前10時、石破茂元幹事長は、参議院別館の歯科診療所を定期検診のため訪れました。同院長は、本学70回卒

オールニッパ All日歯で世界の歯科大学に

東京▶新潟の教授会で新旧学長が語る

令和2年度の定例教授会は、生命歯学部では6月23日、九段ホールにおいて、新潟生命歯学部では6月25日、アイヴィホールにおいて開催された。

東京の教授会では中原泉前学長は「私が学生時代のころから、日本歯科大学はニッパと呼ばれていた。これは半分馬鹿にした呼び方で私は内心悔しがったが、しかしよく考えてみると、歯科大学・歯学部28校の中で、あだ名で呼ばれるのは本学だけだ。あだ名がつくことは大したものだと思ってるので、いくらかでも呼んでもらってよい。東京・新潟合わせてオールニッパで今後ともお願いしたい。」と述べた。

続いて藤井一維新学長は「令和2年4月1日、第9代学長に就任した。私は基本的には東京の生命歯学部で居て、学長職を務めるので宜しくお願したい。私も学長としての基本コンセプトはオールニッパだ。このオールニッパは、いろいろな意味がある。本学には、2つの歯学部と2つの研究科がある。これをフル活用して病院もすべて含み、本当にオールニッパで学生募集から始まり、教育と研究をするのが一番だと思ってる。」

中原理事長は2000年から20年間学長職を務めた。昨年出版された『中原泉回顧記録』を読んだ分かったのだが、学長就任に際して、私の判断基準は大学にとってプラスかマイナスか、それが尽きる、それ以外の判

Mochizuki et al. Stem Cell Research & Therapy (2020) 11:267
<https://doi.org/10.1186/s13287-020-01776-7>
 Stem Cell Research & Therapy

RESEARCH Open Access

Type I collagen facilitates safe and reliable expansion of human dental pulp stem cells in xenogeneic serum-free culture

Mai Mochizuki^{1,2}, Hiroshi Sagara³ and Taka Nakahara^{2*}

Abstract
Background: Human dental pulp stem cells (DPSCs) are a readily accessible and promising cell source for regenerative medicine. We recently reported that a xenogeneic serum-free culture medium (XFM) is preferable to fetal bovine serum-containing culture medium for ex vivo expansion of DPSCs; however, we observed that, upon reaching overconfluence, XFM cells developed a multilayered structure and frequently underwent apoptotic death, resulting in reduced cell yield. Therefore, we focused on optimization of the XFM culture system to avoid the undesirable death of DPSCs.

掲載論文URL: <https://stemcellres.biomedcentral.com/articles/10.1186/s13287-020-01776-7>

発生・再生医学講座(東京) 英国幹細胞専門誌に発表

生命歯学部発生・再生医学講座の望月真衣助教と中原貴教授らの研究チームは、歯髄幹細胞の新たな培養法の確立に成功し、英国の幹細胞専門誌『Stem Cell Research & Therapy』(2020年7月14日)に発表した。本研究成果は、同日付けの日本歯科新聞(第2118号)にも紹介された。論文題名は「コラーゲンをを用いたヒト歯髄幹細胞の無血清培養法の確立(英文題名は、上記抜粋論文名通り)」。

中原教授らの研究チームは、2018年に幹細胞の培養には必須とされるウシ胎仔血清(FBS)を用いない無血清培養法によって、歯髄組織からの幹細胞の分離と大量培養に成功した。ところが、同培養法は、過度に培養を続けるとシートに培養を続けるシートに化して細胞の増殖能に破綻をきたし、細胞死を生じることが問題であった。

このたびの研究では、コラーゲンを培養皿に塗布することで、歯髄幹細胞の接着を促進して活発な増殖を維持し、通法培養の約2倍の細胞数が得られた。さらに、シート化しても細胞死が生じず、幹細胞特性と正常な染色体を維持しており、細胞のがん化(腫瘍化)も見られなかった。

現在の幹細胞の培養には、FBSを添加した培



左から佐藤聡教務部長、中原賢歯学部学長、若槻紀寿事務局長、藤井一維学長

新新潟生命歯学部教授会で資料を紹介する中原前学長

断基準はないと話されてる。大学が得するか損するか、このことを基準に考えていただきたい。新潟でよく言っているのは、教員は学生に嫌われぬ勇気を持たなくてはならない。結果として5年後、10年後に、ああそうだったのかと分かってもらえればよい、学生の機嫌や人気をとる必要はない、歯科医師にすることが教員の使命、と思ってる」と挨拶した。

ついで中原名誉学長に藤井新学長から、記念盾が贈呈された。

2日後の25日、新潟生

命歯学部で開かれた教授会で中原前学長は、「私は平成3年(1991)に学長に就任し、4年2カ月務めた。それから2000年から2020年に至るまで、あわせて24年2カ月、学長職を務めさせていただいた。新潟歯学部の教授会は、昭和47年の学部開設から始まるが、私は48年間出席した。第1回の新潟歯学部教授会の資料があるのでご紹介したい。4月の定例教授会、昭和47年4月25日火曜日、午後12時30分から3時30分まで、本館4階の窓際、ベラン



中原前学長に記念盾と花束が贈られた(6月25日・新潟、写真上・藤井学長、下・中栄参与)



次いで、中原賢新潟生命歯学部学長は、「今月私は40歳になった。きりのいい歳なので昨日、自分

私は論文至上主義者ではない。しかしなぜ論文の話をしてるかというのと、一般的に他大学の教授選考では、最初は書面審査で論文の数、研究内容が評価される。それを通過してはじめて教育や診療の評価となる。私は世界で通用する歯科大学をつくらせたいと思ってる。

教務部長に就任して以来、本学の歯科医師国家試験合格者を90%台にあげ、それを堅持したいと

旗本が幕末まで屋敷を拝領していた。本学では1955年(昭和30)に購入したが、当時は未だ旗本屋敷の長屋門が残っていた。附属病院を開院した1987年(昭和62)に、病院入口に千代田区と本学との連名で、文化財標識として「旗本屋敷跡」の説明板が設置された。

今年、日本語と英語の説明板をリニューアルした。その脇には、「下乗(かじょう)」の石碑が建立されている。

この目標は設定したまま新たな目標を掲げたい。それは World University Ranking for Dentistry で100位、そして50位を目指せる大学にしたいことである。教員一人一人の論文数、各国からの研究者の雇用を大学側としてどんどん増やしていきたい。世界に認められ、100年200年、強く生き続けることのできる日本歯科大学新潟生命歯学部をつくらせたい」と挨拶した。

このあと、藤井新学長より中原名誉学長へ記念盾が贈呈された。ついで40年余にわたり秘書を務めている、中栄美栄子参与から中原名誉学長に花束が手渡された。

養液が使用されるが、プロオンやウイルスなどの感染や異種抗原に対する免疫反応の恐れがあり、再生医療のリスク要因の一つとなっている。コラーゲン塗布という簡便な手法で、効果的な無血清培養に成功したこと

で、本学が進める「歯の細胞バンク」への応用も可能なことから、将来の安全な再生医療への貢献が期待される。

先日新潟でタクシーに乗り、浜浦町の歯科大に行ってきたさい、と言うと、運転手が、ニッパです、新潟にもニッパが広まっていると思った。これからは東京・新潟あわせてオールニッパでお願いしたい」と挨拶した。

つづいて藤井一維学長は、「4月1日に第9代学長に就任した。私は日本歯科大学を受験するときに、自分なりに調べまくったが、この大学は守られる大学だと直感した。ただ守られるというのは、守る大学でもある。教職員・卒業生・学生が、大学を守るといって考えなければ長い間続かないだろう。東京の

東京 附属病院入口 文化財標識を一新



飯田橋駅前の本学体育館や附属病院の敷地は、江戸時代は旗本屋敷だった。この場所は、江戸城外郭の牛込御門内にあたり、富永権左衛門という

た。この場所は、江戸城外郭の牛込御門内にあたり、富永権左衛門という



中原理事長から記念品が手渡された



最終講義には大勢の教職員が聴講した



渡邊文彦教授(新潟生命歯学部補綴学第二講座)の最終記念講義は7月30日午後6時15分から新潟生命歯学部講堂において開催された。演題は「患者さんから学んだ歯学部補綴学教室第...

新潟生命歯学部講堂で最終記念講義 黒川教授(新潟・総診) 渡邊教授(新潟・補綴)



記念品と花束を贈る中原理事長



多くの教職員が聴講した最終講義



黒川裕臣教授(新潟病院総合診療科)の最終記念講義は、6月25日午後5時から新潟生命歯学部講堂において行われた。演題は「日本歯科大学とともに45年」で、新型コロナウイルス感染症予防のため、学外や学生の参加は無かったものの、多くの教職員・大学院生が聴講した。黒川教授は1981年(昭和56)本学卒業(第70回卒)。新潟歯学部歯科補綴学第二講座助...

新潟・文京町に校地を購入 本学ではこのほど、新潟市中央区文京町の新潟県職員寮跡地1151㎡(約350坪)を校地として購入した。バス通りに面した同地は、新潟キャンパスから徒歩5分の至近距離にある。

校友会が御見舞金を贈る 日本歯科大学校友会(近藤勝洪会長)では、新型コロナウイルス感染症対策に役立ててもらえるよう、学校法人日本歯科大学と各都道府県校友会に御見舞金を贈呈した。ICD会長に隅田先生

松野教授(東京・口腔外科) 生命歯学部口腔科学講座の松野知宣教授は、

小宮定志 名誉教授 本学名誉教授の小宮定志先生は、4月6日逝去された。享年89。小宮名誉教授は1954年(昭和29)東京教育大学理学...

桐村和子 名誉教授 本学名誉教授の桐村和子先生は、7月23日逝去された。享年86。桐村名誉教授は1958年(昭和33)東京立大学理学部卒業、61年(昭和36)から本学生化学教室に勤務し、1988年(昭和63)に共同利用研究所...

東京・江東区にある木場寮は、1994年(平成5)に鹿島建設株式会社の男子寮として建設された。本学ではその建物を2001年に購入し、生命歯学部と東京短期大学の女子寮として、冷暖房完備、キッチン、バス、トイレ付の完全個室84室に改修した。すでに築25年が経過...

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

東京・江東区にある木場寮は、1994年(平成5)に鹿島建設株式会社の男子寮として建設された。本学ではその建物を2001年に購入し、生命歯学部と東京短期大学の女子寮として、冷暖房完備、キッチン、バス、トイレ付の完全個室84室に改修した。すでに築25年が経過...

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)



東京・木場寮を改修



東京・江東区にある木場寮は、1994年(平成5)に鹿島建設株式会社の男子寮として建設された。本学ではその建物を2001年に購入し、生命歯学部と東京短期大学の女子寮として、冷暖房完備、キッチン、バス、トイレ付の完全個室84室に改修した。すでに築25年が経過...

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

大学院入学生 2020年度日本歯科大学大学院生命歯学研究科入学生9名、新潟生命歯学研究科入学生14名は次の通り (大学院生命歯学研究科 解剖学I 川田幸平)

痛みの原因を知り その痛みを鎮める方法を紹介! カラー図解 痛み・鎮痛の教科書 <しくみと治療法> 定價:1,900円+税 豊富な解剖図や説明図を用いて「痛み」のしくみと治療法を西洋医学と東洋医学の両方から、わかりやすく解説しています。スポーツ選手から、作業療法士、理学療法士、スポーツトレーナー、柔道整復師などの医療従事者まで、幅広い方々に役立ちます!

小宮定志 名誉教授 本学名誉教授の小宮定志先生は、4月6日逝去された。享年89。小宮名誉教授は1954年(昭和29)東京教育大学理学...

株式会社 ナツメ社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-52 TEL 03-3291-1257 FAX 03-3291-5761 https://www.natsume.co.jp/